

社協職連協にゆ〜す

第27号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会
平成26年12月28日 発行



平成26年度事業計画

社会福祉協議会は、人にやさしい福祉のまちづくりを進めるために、地域の皆さんやボランティア及び行政機関等の協力を得ながら共に考え、地域福祉の向上のため各事業に取り組むことが求められています。茨城社会福祉協議会職員連絡協議会もこのことを推進していくため、次のとおり組織運営・活動を行います。

〈主な活動〉

- 研修活動
 - ・支部研修の促進
 - ・社協職員研修システムの活用
- 広報活動
 - ・職連協ニュースの発行
 - ・茨城県市町村社協データブックの作成
 - ・ホームページの活用
- 支部活動活性化事業
 - ・支部長との連携
 - ・支部運営委員への支援
 - ・支部活動助成事業の実施
- 福利厚生・互助事業
 - ・退会者への記念品等の贈呈
- 他団体との連携
- 会務
- その他

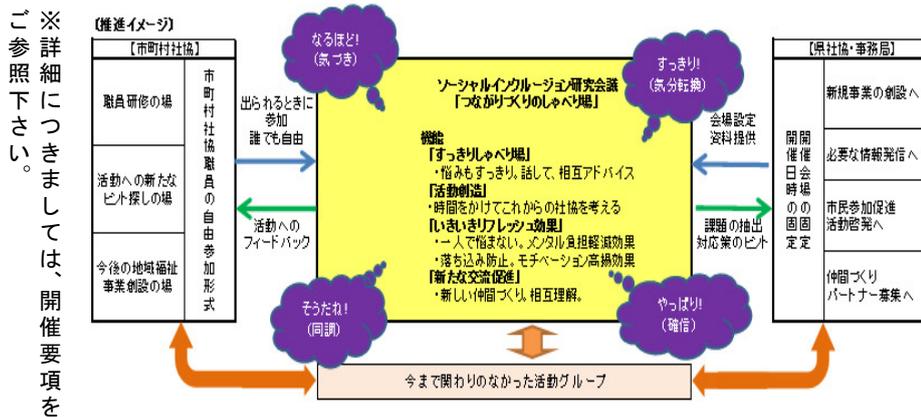
新役員が決定しました

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の新役員が次のとおり決定しました。

- 会長 豊崎 淳一（かすみがうら社協）
- 副会長 栗原 志夫（大洗町社協）
- 副会長 福田 浩己（常陸太田市社協）
- 理事 小野崎さつき（日立市社協）
- 理事 大山 和茂（ひたちなか市社協）
- 理事 池田 恵子（常陸大宮市社協）
- 理事 阿部 亮太（小美玉市社協）
- 理事 坂本 将則（神栖市社協）
- 理事 豊島 真喜子（鉾田市社協）
- 理事 武藤 悦典（土浦市社協）
- 理事 染野 ユミ（境町社協）
- 理事 神林 健（常総市社協）
- 理事 酒井 二三彦（阿見町社協）
- 理事 征矢 朋之（河内町社協）

平成26年度 職連協研修のお知らせ

ソーシャルインクルージョン 研究会議
つつながりづくりのしやべり場



※詳細につきましては、開催要項をご参照下さい。

平成25年度事業報告

○理事会(4回)・評議員会(2回)・第50回関ブロ実行委員会(2回)

○研修事業

・市町村社協新任・初級研修 平成25年9月26日～27日

大子温泉やみぞを会場に、社協職員新任・初級研修を実施しました。1日目には、オフィス・マルチェロ 田中路子氏を講師に招き「社会人としてのマナー研修」を、茨城県社会福祉協議会 篠原義典氏を講師に招き「社協職員として備えておくべき能力」の講義・交流会を行いました。

2日目には、常総市社会福祉協議会 滝本栄氏を講師に招き「社協マンとして・・・これからの事を考える」をテーマに講義を行い、理事5名が実践活動発表等を行い研修を締めくくりました。

・第50回関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会

平成25年7月11日(木)～12日(金)

「つなげよう！ひろげよう！ひとつになろう！

～50回目の新たな出会い～」

つくば国際会議場にて、第50回関ブロが開催されました。初日に基調説明と6分科会が開催され、2日目には藤原和博氏による記念講演「つなげよう！ひろげよう！ひとつになろう！～50回目の新たな出会い～」をもって閉幕となりました。

・平成25年度関東ブロック社協職員の会連絡理事会

平成26年1月31日(金)

○広報活動

・職連協にゆ～す第26号の発行。平成25年9月1日

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会では、社協活動に関する調査、研究、提言等のほか、支部社協への支援、会員の資質向上や福利増進、会員間の交流等を目的に、種々の事業を実施いたしました。今後も、会員一人ひとりに必要とされる組織を目指し、各種事業に取り組みたいと思います。ご意見等があれば、どうぞお気軽にお聞かせください。



第27号の編集は
県北・那珂支部が
担当しました。

ス(仕事と生活の両立)を実践することが必要と話してくださいました。

講師は、「『良い父親』ではなく『笑っている父親』を増やそう。そうすれば家庭が変わり、職場が変わり、社会が変わる。父親であることを楽しもう！」を合言葉に全国で活躍されているNPO法人ファザーリングジャパン代表の安藤哲也氏。

「イクボス」は、県内ではまだ聞きなれない言葉ですが、有名企業や全国各地の自治体、国の省庁では既に職員研修として実施されています。

イクボスは、イクメンや子育て世代を職場で支援すると同時に、女性の登用・活躍を支援するために部下の育児休業取得を促すなど、仕事と育児・家族の介護などを両立しやすい環境作りに努め、自らワークライフバランス(仕事と生活の両立)を実践することが必要と話してくださいました。

那珂支部職員研修紹介
イクボスが増えれば職場が変わる、
家庭が変わる、社会が変わる